



今年も残すところ7日となり、令和3年がまもなく終わろうとしています。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、どのような一年だったでしょうか。今年も年間を通して、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中での生活が余儀なくされ、学校においても様々な工夫を行いながら何とか諸行事を進めてきたところであります。

そのような中ではありましたが、学習面や生活面、そして部活動において、常に成長を目指して一生懸命頑張る生徒たちの姿を随所に見ることができ、その様子を学校だよりでたくさん紹介できたこと、本当にうれしく思います。さて、令和3年が幕を閉じ、新しい年、令和4年が明けようとしています。三松中学校にとっても、さらなる飛躍の年となるよう「チーム三松中」を合言葉に全力で頑張っていきますので、来る年も三松中の活躍にご期待ください。

保護者の皆様、地域の皆様、大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。それでは、令和3年最終号もどうぞお楽しみください。

校内ロードレース・駅伝大会

12月15日(水)に、川無地区の農道を利用して校内ロードレース・駅伝大会を行いました。当日は、朝の冷え込みがあったものの、すっきりとした青空の下、風の影響も受けることなく、最高のコンディションで子どもたちは伸び伸びと走っていました。

この日を迎えるにあたり、11月29日(月)から学年体育でそれぞれ7時間の学習に取り組んできましたが、当日は練習の成果を思う存分発揮していたと思います。一人一人が自己記録の更新を目指して一生懸命走る姿、学級の代表として責任をもってタスキを繋ぐ姿、そして、仲間を精一杯応援する姿に感動し、改めて三松中学校の子どもたちの素晴らしさを実感するとともに、とても幸せな時間を過ごすことができました。



こんな素敵な時間を作ってくれた皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。また、今大会を支えていただきましたPTA保体委員会及び役員の皆様、そして、沿道から温かい声援を送っていただきました保護者の皆様、ありがとうございました。

なお、成績は以下のとおりです。

【駅伝の部(総合)】 1位:1年A組、2位:3年B組、3位:2年B組

【駅伝の部(区間賞)】 第1区:杉元太志(1A)、第2区:池田芽生(1A)

第3区:山下源之助(2B)、第4区:春田珠空(1B)、第5区:隈本優心(2B)

第6区:馬場 優(3B)、第7区:大浦翔矢(3B)

【ロードレースの部(総合)】 1位:2年A組、2位:3年B組、3位:1年A組

【ロードレースの部(男子)】

1位:田邊 光(3A)、2位:齊藤結喜(2A)、3位:増田晟希(2A)

【ロードレースの部(女子)】

1位:上木場可菜(1A)、2位:黒木琉歌(1A)、3位:松吉このは(1A)

メディア教育講演会

12月10日(金)に、メディア安全指導員の橋之口 修様を講師にお迎えし、「メディア教育講演会」を行いました。情報化社会が加速し、生徒たちは生まれた時からネット機器に囲まれています。また、Withコロナの時代と言われる昨今、ネットの利用に拍車がかかっています。そのため、間違った使い方や危険なサイト、多くの犯罪につながるなど十分わかっているにもかかわらず、ネットに頼った生活を送っているのが現状のようです。学校でも、一人一台のタブレット端末の活用が進む中、自分の私物のように扱い指導を受ける場面も見られます。そのような中、今回は『オンライン社会の中で三松中生はどうすべきか、今改めてあなたに考えてほしいこと』と題して、具体的な例や映像等を使って、分かりやすい講演を行っていただきました。情報モラル教育はこれからの社会を生きていく上で必要不可欠なスキルとなっています。今回の講演会ですべて身に付く訳ではありませんので、日頃から、ご家庭でも話題にいただければ大変ありがたいです。

手話講座(3年)

3年生は、12月2日(木)の5・6時間目に「こすもす科」の学習として、外部講師を招き「手話講座」を実施しました。手話は、日本語と異なる言語で、手指や表情、身体を使って表す視覚言語です。また、手話は身振りとは違い、語彙を持ち言語数も1万語も超え、全国各地にある方言的な手話と一般的で統一された標準手話の2通りがあるようです。講座では、手話の方法を学び、お互いに自己紹介しながら会話を進める活動も行われましたが、子どもたちは覚えた手話を使って一生懸命に取り組んでいました。



小林市では、平成30年4月から、小林市手話言語条例が施行されています。ぜひ、聞こえる人たちと聞こえない人たちが共にコミュニケーションができて、暮らしやすい小林市になるよう、今回の学びを実生活に生かしてほしいと思います。

13歳のハローワーク(1年)

1年生は、12月23日(木)に総合的な学習の時間において「13歳のハローワーク」を行いました。今回は、10の事業所の皆様においでいただき、「社会人とは」、「自分の職業」、「なぜ今の職業に就いているのか」、「将来の職業選択のヒント」等の内容で、生徒が20分ごとに入れ替わる形で実施しました。実際に働いている方々から直接話を聞くことができ、職業に関する知識や視野を広げる進路選択につながるものとなり、また、将来の生き方を考える貴重な時間となりました。今日の学習を今後の生活に生かし、「社会人」になるための必要な力をしっかりと身に付けてほしいと思います。



シェフのにしろ食育教室(2年)

2年生は、12月6日(月)に、小林市のレストラン Kokoya de kobayashi (ここやっこばやし) のシェフである地井潤様による食育教室を行いました。これは、地元の食を通して郷土に誇りや愛着をもってもらうことを目的として小林市が実施する事業です。今回は、コロナ禍ということでオンラインでの教室となりましたが、地井シェフによる地元の食材をふんだんに使ったおいしいお弁当を食べながら、地元産食材の素晴らしさや適切な食習慣の重要性、味覚等の説明を聞き、食について深く学ぶことができたようです。今回の教室を通して、西諸の食材の魅力を感じるとともに、フードロスへの意識を高め、日々の給食での残食ゼロに継続して取り組んでほしいです。



～ 入賞おめでとう ～

- 【一行詩「生命のこえ」コンテスト】 優秀賞：戸高 由貴
- 【第44回J A共済小・中学生書道コンクール】 佳作：上木場可菜
- 【J Aこばやし小・中学生書道コンクール】 金賞：馬場 優
- 【小林市健幸のまちづくりポスターコンクール】 優秀賞：石村奏漣

地域部活動試行がスタート

地域部活動とは、教職員の指導による学校の部活動に代わり、地域の経験者等が部活動の指導を行う新しい部活動の体制です。教職員の指導経験の有無に関わらず、地域の経験者等が専門的な指導を行うことで、競技力の向上につなげるとともに学校の働き方改革へとつなげ教育の質の向上を目指すものです。これは令和5年度から部活動改革として段階的に地域移行を進める方針を示している国の委託事業として県教委のモデル事業に位置づけられ本校が実証試験を行うものです。12月12日(日)から19日(日)にかけて第1回目が行われましたが、今後来年2月まで毎月1回実施し、課題等を検証し、令和5年度の市全体での導入に備えていくこととなります。なお、本年度の試行部活動は以下の5つの部活動です。

【男子バレーボール、女子バレーボール、男女ハンドボール、陸上競技、男子ソフトテニス】

6	木	2学期後半開始の日
12	水	学力診断テスト【3年】、実力テスト【1・2年】、避難訓練(火災)
13	木	学力診断テスト【3年】、実力テスト【1・2年】、新入生説明会
14	金	読み聞かせ、英検
17	月	PTAあいさつ運動【2B】～18日
18	火	栄義教諭を招いての授業【1年】
19	水	表彰式・校納式、PTAあいさつ運動【1B】～20日
21	金	PTAあいさつ運動【2A】～24日
24	月	修学旅行事前指導【2年】
25	火	私立高等学校入学試験前日指導【3年】、修学旅行【2年】(～27日) PTAあいさつ運動【1A】～26日
26	水	私立高等学校入学試験【3年】(～27日)、

※変更になる場合もあります。

三松中学校

検索



三松中ホームページも、ぜひご覧ください！